



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

予選レポート

2026/10/10 Rd-9 FUJI SPEEDWAY

天候：晴れ 気温：20℃ 出走台数：24 台

2026 シーズンも後半 2 大会 4 戦を残すのみとなり、現在 2 位に大差をつける太田選手がさらに差を開けるのか、昨年チャンピオンの岩佐選手や今季 2 勝をあげる福住選手が待ったをかけるのか、チームタイトルの行方も含め目の離せない富士大会となる。

稀にみる長雨にたたられた関東東海地方、しかし土曜日のサーキットは秋晴れの清々しい天候の下予選が開始された。

第 1 予選 A 組の牧野選手は、ユーズドタイヤでコンディションチェックの後、ニュータイヤへ交換。残り時間 6 分でコースイン。2 周回のウォームアップの後アタックに入り、第 3 セクターで全体ベストタイムを記録し首位で第 2 予選へ。

B 組太田選手は、2 アタック戦略をとって残り 7 分でコースイン。2 周回のウォームアップを行い 1 回目のアタックラップで首位に。さらに 2 アタック目の第 1 セクターでベストタイムを記録し、首位を守って第 2 予選へ進む。

続く第 2 予選、牧野、太田両選手は、フロントセットアップに小修正を施し臨む。

2 アタック戦略の太田選手は残り 7 分でコースへ。1 アタック目で首位タイムを記録すると、第 1 第 2 セクターで自己タイムを更新するが第 3 セクターでタイムを伸ばせず 2 位となる。1 アタック戦略をとってコースインした牧野選手は、全体的にグリップ感を得られず、特に第 3 セクターでタイムロスし 10 位で予選を終えた。

5：牧野任祐 選手 予選 10 位（第 1 予選 A 組 1 位、第 2 予選 10 位）

フィーリングもよく順当に首位で第 2 予選に進むことが出来ました。

第 2 予選では路面コンディションの変化なども見据え、若干のセットアップ変更を行いました。しかしいざ走り出すとグリップを感じられず、全体的にタイムアップできませんでした。ほんの僅かなセットアップの変化や路面コンディションで大きく順位が変わってしまうスーパーフォーミュラの難しさですね。決勝はまた別物なので、まずはスタートに集中し上位フィニッシュを目指します。

6：太田格之進 選手 予選 2 位（第 1 予選 B 組 1 位、第 2 予選 2 位）

第 1 予選ではナーバスなフィーリングで少し不安感もありましたが、第 2 予選に向けてのセット変更が良く、フロントロウで終われたことに正直ホッとしています。

午後の決勝ではしっかりと自分の走りをして、着実にチャンピオンシップを進めたいですね。